D01370901G

ESOTERIC

K-03XD

取扱説明書

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

SUPER AUDIO CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

目　次

注意

本機のアナログ出力とデジタル出力は、それぞれの選択した端子 1 系統からのみ信号を出力します。

最初にアナログ出力設定およびデジタル出力設定をしてからご使用ください。

設定方法は、24 ページの「設定モード」、26 ページの「アナログ出力設定」と「デジタル出力設定」をお読みください。

安全にお使いいただくために 4
お使いになる前に 7
使用上の注意 7
ディスクについて 8
接　続 9
リモコンについて 12
各部の名称 (リモコン) 13
各部の名称 (本体) 14
各部の名称 (ディスプレー) 15
再　生 16
選　曲 18
再生モード 19
リピート再生 20
ディスプレー 20
ディマー 21
入力ソースを切り換える 21
パソコンと接続して音楽ファイルを再生する 22
設定モード 24
設定 1 25
設定 2 27
MQA (Master Quality Authenticated) 28
困ったときは 29
仕　様 31
保証とアフターサービス 33
寸法図 34

The MQA logo is a trade mark of MQA Limited.

"DSD" is a registered trademark.

"Super Audio CD" is a registered trademark.

This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. The use of Rovi Corporation's copy protection technology in the product must be authorized by Rovi Corporation.
Reverse engineering and disassembly are prohibited.

Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Apple, Mac and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Bulk Pet はインターフェイス株式会社の登録商標です。

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 **電源プラグをコンセントから抜く**	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (35 ページ) に修理をご依頼ください。
 **禁止**	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (35 ページ) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間，高音量で聴かないで下さい。
 **指示**	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 **禁止**	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

	警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (35 ページ) にご依頼ください。	
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。	

	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。	
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。	
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する**	
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。	
	この機器は約 28kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。	
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。	
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。	
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。	
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。	
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。	


愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (35 ページ) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

警告 乾電池に関する警告	
禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

警告 電池に関する警告	
強制	**電池を入れるときは、極性表示 (プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き) に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

注意 電池に関する注意	
禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない。** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

お使いになる前に

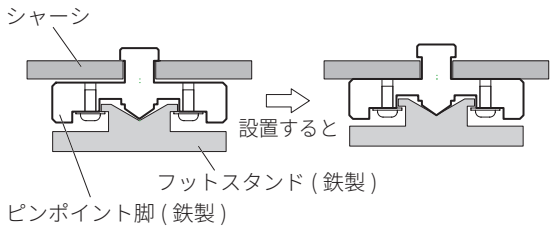
付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (35 ページに記載) にご連絡ください。

電源コード× 1
リモコン (RC-1333) × 1
リモコン用乾電池 (単 3) × 2
フェルト× 3
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード× 1

設置について

本機の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が取り付けられています。
ピンポイント脚とフットスタンドは、ぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 設置後にシャーシとピンポイント脚との間にすき間があるときは、ピンポイント脚をネジを締めこむ方向に回すと、すき間がなくなります。
- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- ガラス扉付きラックに設置した場合、ガラス扉を閉めたままリモコンのトレー開閉ボタン (⏏) を押してディスクトレーを開けないでください。強い力でディスクトレーの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 安定した場所に設置してください。

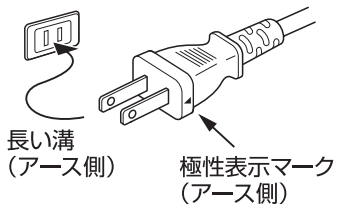
外部接続した機器で録音する時の注意

ディスクによってはコピー禁止信号の入っているものがあります。コピー禁止信号の入っているディスクの音声をデジタル信号のまま録音することはできません。
(音声をアナログで録音することは可能です)

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分に丸い突起がある方が、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



ディスクについて

下の表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。本機はこの表のディスクをアダプターなしで再生することができます。
この表のディスク以外は再生できません。

本機で再生できるディスクの種類とマーク

スーパーオーディオ CD

SUPER AUDIO CD

音楽用 CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- DVD ビデオ、DVD オーディオ、ビデオ CD、DVD-ROM、CD-ROM などは再生できません。

- コピーコントロール CD など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクや Dual Disc は正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証いたしかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RW について

本機は音楽 CD フォーマットで記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

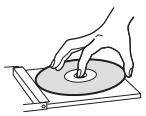
- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

ディスクの取り扱い

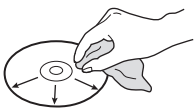
- ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。
(コンパクトディスクの再生は片面だけです)
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　ディスクの持ち方





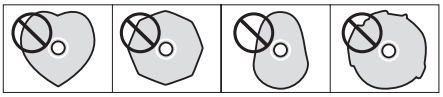
- 信号記録面 (レーベルがない面) に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には放置しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

接　続

- ハート形や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

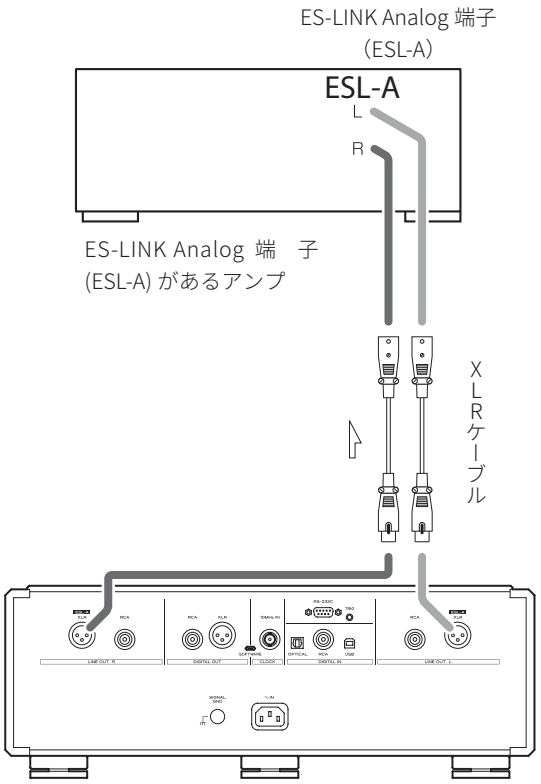


- レーベル面に印刷するタイプのディスク (プリンタブルディスク) は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

- ご使用になったカセットテープ、CD、SD カード、USB フラッシュメモリー等の記録媒体（以下「媒体」といいます）が原因で本機が故障した場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。
  ※長年ご使用になっていない、または、すでに長時間使用された媒体、カビ・汚れ・ベタつき・折れ・捻じれなどが見られる媒体のご使用は、避けてください。
- 媒体に起因して生じた製品または媒体の破損、テープの巻き込み、データの喪失等につきましても、弊社では一切の責任を負いかねます。また、その他の逸失利益、間接的・派生的な損害、その他特殊な事情から生じた損害につきましても、同様です。
  ※万が一の場合に備えて、あらかじめデータのバックアップの作成等、お客様にてデータの保存や保護措置を講じられることをお勧めいたします。

ES-LINK Analog で接続する場合



ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) があるアンプと本機のアナログ音声出力端子 (XLR/ESL-A) とを XLR ケーブルで接続します。

- 本機のアナログ出力の設定 (AOUT) を ESLA にしてください。
- XLR や RCA でも接続することができます。お好みの音質の接続を選んでご使用ください。

ES-LINK Analog について

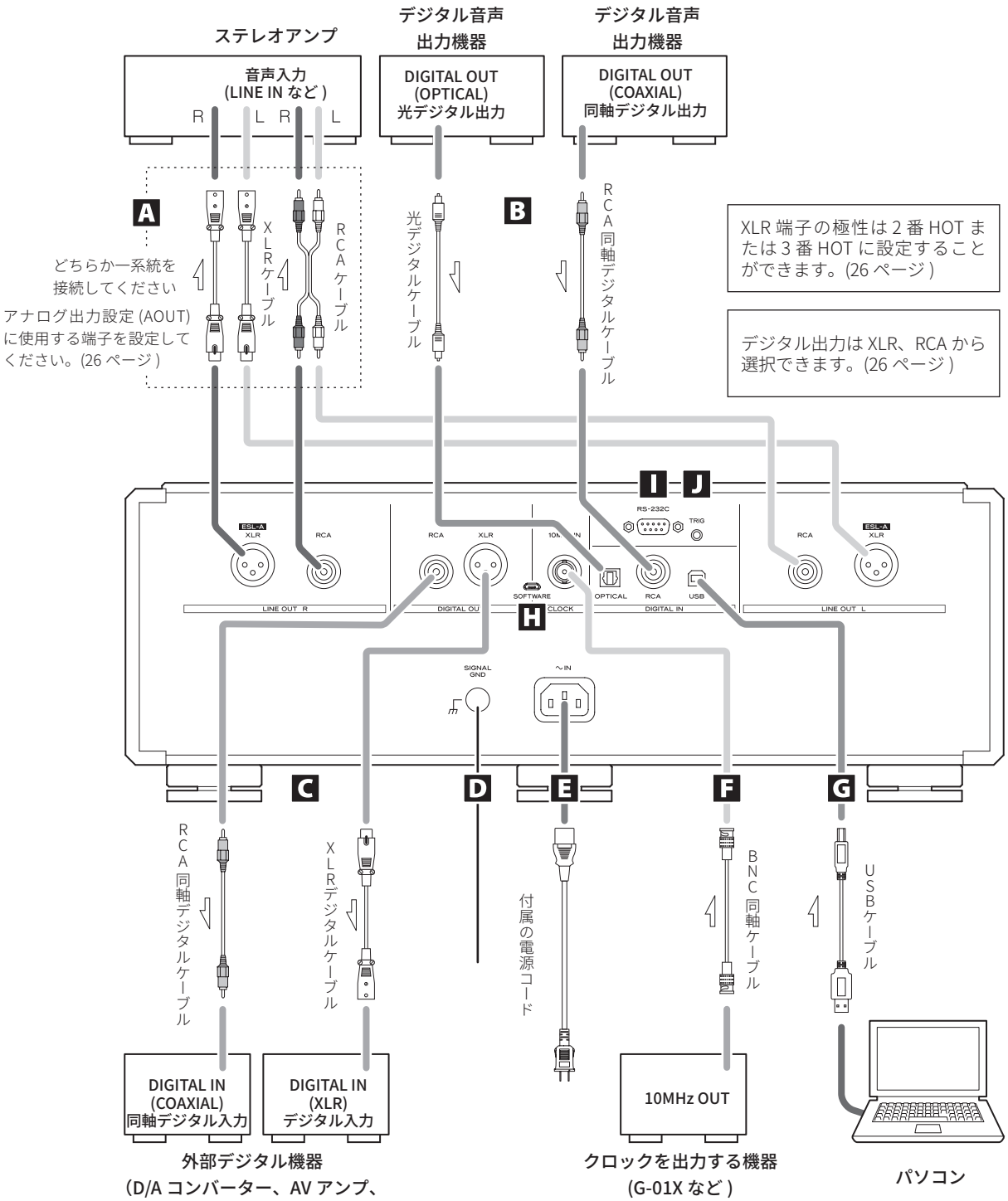
ハイスピードで強力な電流供給能力を誇る HCLD バッファー回路の性能を生かした電流伝送方式により、信号経路のインピーダンスの影響を受けにくく、信号をピュアに力強く伝送することが可能です。

- 接続ケーブルは一般的なバランスケーブル (端子形状 :XLR) ですが、独自伝送方式のため、対応する機器以外ではご使用になれません。

接　続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A アナログ音声出力端子 (LINE OUT)

2 チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR 端子または RCA 端子をアンプと接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR/ESL-A : XLR ケーブル
RCA : RCA ケーブル

本機の R 端子とアンプの R 端子、本機の L 端子とアンプの L 端子をそれぞれ接続してください。

- アナログ出力設定は、XLR2、XLR3、RCA、ESLA または OFF から選択してください。(26 ページ)
- 本機と ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) があるアンプを接続する場合は、本機の XLR 端子とアンプの ES-LINK Analog 端子 (ESL-A) を接続することを推奨します。(9 ページ)

B デジタル音声入力端子 (DIGITAL IN)

デジタル音声を入力します。デジタル音声出力機器のデジタル音声出力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

RCA : RCA 同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル (TOS)

C デジタル音声出力端子 (DIGITAL OUT)

本機で再生した CD のデジタル音声、もしくは本機のデジタル入力端子に入力されたデジタル音声を出力します。
本機のデジタル音声出力端子 (DIGITAL OUT) を、外部デジタル機器 (D/A コンバーター、AV アンプ、レコーダーなど) のデジタル音声入力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR：XLR デジタルケーブル
RCA：RCA 同軸デジタルケーブル

- この端子からは、スーパーオーディオ CD のデジタル音声を出力することはできません。
- デジタル出力は、OFF、XLR、RCA から選択できます。(26 ページ)

D アース端子 (SIGNAL GND)

アンプなど、本機と接続する機器とアース接続をすると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

E AC インレット (～ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグを 100V AC の電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の AC インレットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

F 10MHz クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN)

10MHz の同期信号 (クロック) を入力します。
クロック同期させる場合は、クロックを出力する機器のクロック出力端子と本機のクロック入力端子を接続して、外部クロック設定 (CLK>) を「SYNC」に設定してください。(25 ページ)

接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。

- BNC 同軸ケーブルはインピーダンス 50 Ωまたは 75 Ωのものがお使いいただけます。

G USB 端子 (USB)

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンの USB 端子と接続してください。

接続には市販の USB ケーブルをお使いください。

- 接続の前に 22 ～ 23 ページの注意をよくお読みください。

H メンテナンス用端子 (SOFTWARE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

I リモコン入力端子 (RS-232C)

専門業者 (カスタムインストーラー) 用のコントロール端子です。

J トリガー端子 (TRIG)

外部から電源をコントロールするための端子です。
この端子を使わないときは何も接続しないでください。

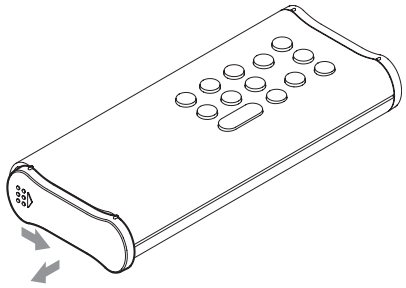
リモコンについて

リモコン使用上の注意

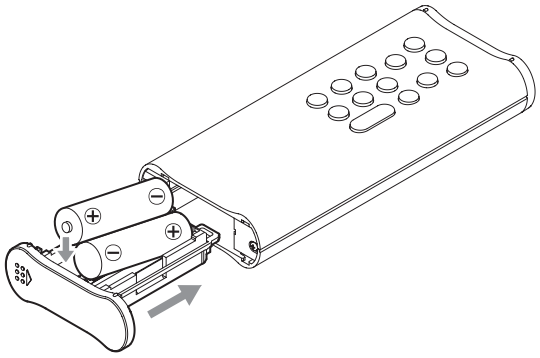
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

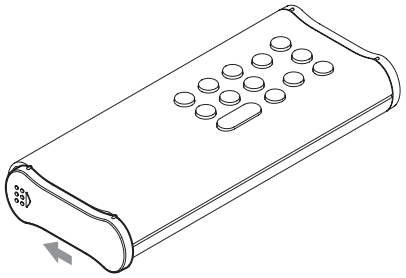
1 リモコンの底面を図のようにスライドさせて、電池ケースを引き出す。



2 ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 (単 3 形) 2 本を入れて電池ケースを戻す。



3 リモコンの底面を図のようにスライドさせて、電池ケースを取り付ける。



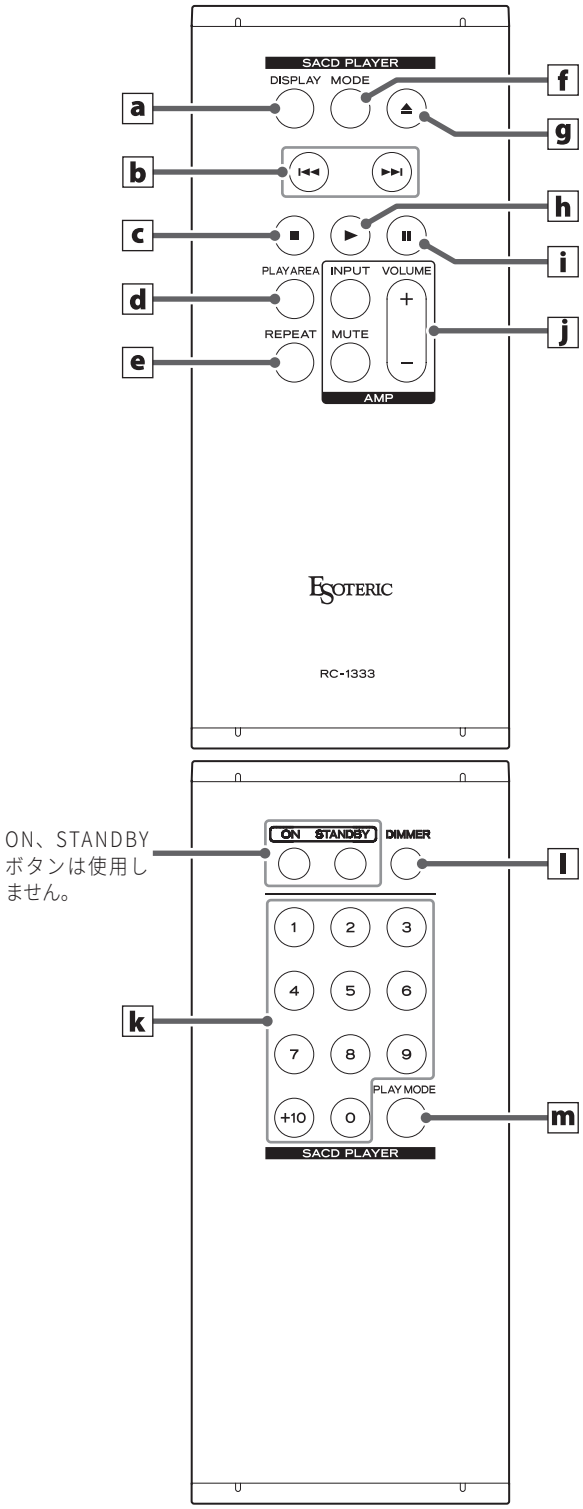
電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠ 電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
6 ページの注意をよく読んでご使用ください。

各部の名称 (リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a ディスプレーボタン (DISPLAY)

再生中または一時停止中に押すと、ディスプレーの表示が切り換わります。(20 ページ)

b スキップボタン (⏮/⏭)

前または後ろのトラックにスキップします。
再生中に長押しすると、早戻し / 早送りをします。長押しを繰り返していくと、早戻し / 早送りのスピードが変わります。(18 ページ)
設定モード時のパラメーター変更に使用します。

c 停止ボタン (■)

再生を停止します。
設定モード中に押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。(17 ページ)

d 再生エリアボタン (PLAY AREA)

停止中に押すと、スーパーオーディオ CD の再生エリアを切り換えます。(17 ページ)

e リピートボタン (REPEAT)

リピート再生に使います。(20 ページ)

f モードボタン (MODE)

入力ソースを切り換えます。(21 ページ)
長押しすると、設定モードになります。(24 ページ)

g トレー開閉ボタン (⏏)

ディスクトレーを開閉します。

h 再生ボタン (►)

ディスクを再生します。

i 一時停止ボタン (⏸)

再生を一時停止します。
一時停止中に押すと再生します。

j アンプ用ボタン (AMP)

本機では使用しません。エソテリックのアンプで使用することができます。

k 数字ボタン

選曲とプログラム再生に使います。(18、19 ページ)

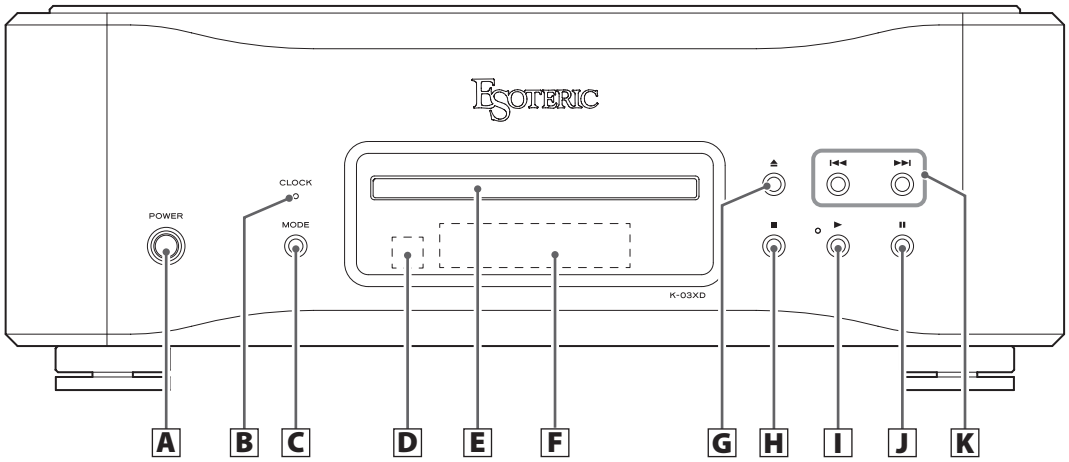
l ディマーボタン (DIMMER)

本体のディスプレーの明るさを調節できます。(21 ページ)

m 再生モードボタン (PLAY MODE)

プログラム再生モードやシャッフル再生モードに切り換えます。(19 ページ)

各部の名称 (本体)



A 電源ボタン (POWER)

電源のオンとオフを切り換えます。
電源がオンのときは、ボタンの周囲が点灯します。
電源がオフのときは、消灯します。

本機を使わないときは、電源をオフにしてください。

B クロックインジケーター (CLOCK)

クロック同期の状態を表示します。
クロック同期中にインジケーターが点滅し、同期すると点灯に変わります。

C モードボタン (MODE)

停止中にこのボタンを押すと、入力ソースが切り換わります。外部入力にすると D/A コンバーターとして使用することができます。(21 ページ)
長押しすると、設定モードになります。(24 ページ)

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(12 ページ)

E ディスクトレー

再生するディスクをセットします。(16 ページ)

F ディスプレー

再生時間や曲数などの情報を表示します。(20 ページ)

G トレー開閉ボタン (⏏)

ディスクトレーを開閉します。

H 停止ボタン (■)

再生を停止します。(17 ページ)
停止中に長押しすると、スーパーオーディオ CD の再生エリアが切り換わります。(17 ページ)
設定モード中に押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。(24 ページ)

I 再生ボタン (►)

ディスクを再生します。(16 ページ)
再生中はこのボタンの横にある再生インジケーターが点灯します。

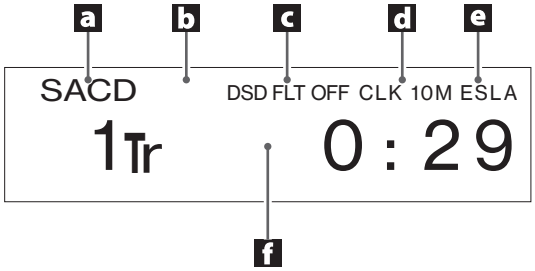
J 一時停止ボタン (II)

再生を一時停止します。(17 ページ)
一時停止中は再生ボタンの横にある再生インジケーターが点滅します。

K スキップボタン (I◄◄/►►I)

前または後ろにスキップします。
再生中に長押しすると早戻し / 早送りをします。長押しを繰り返していくと、早戻し / 早送りのスピードが変わります。(18 ページ)
設定モード時のパラメーター変更に使用します。(24 ページ)

各部の名称 (ディスプレー)



a ディスク表示

セットされているディスクの種類を表示します。
SACD : スーパーオーディオ CD
CD : 音楽用 CD

- ハイブリッドのスーパーオーディオ CD がセットされているときは、再生するエリアの種類を表示します。(17 ページ)

b 再生モード / リピート表示

再生モードやリピート再生モードを表示します。(19、20 ページ)

c 情報表示

スーパーオーディオ CD 再生時、DSD 信号入力時
DSD フィルター設定を表示します。(27 ページ)

音楽 CD 再生時、PCM 信号入力時
無表示：
アップコンバート機能を使用していません。
UPCONV：
アップコンバーター回路により、アップコンバートされ、D/A 変換しています。

- UPCONV の右側に倍率を表示します。(25 ページ)

UPCONV DSD：
アップコンバーター回路により、PCM 信号を DSD 信号に変換し、D/A 変換しています。

MQA-CD 再生時、MQA ファイル入力時
MQA 情報を表示します。

d クロックモード表示

外部クロック設定を表示します。(25 ページ)
無表示：
CLK>OFF 設定時
CLK10M：
CLK>SYNC 設定時

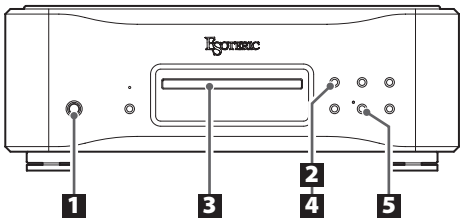
e アナログ出力設定表示

アナログ出力設定の設定値を表示します。(26 ページ)
設定値が OFF のときは、何も表示しません。

f メッセージ表示

再生時間など各種メッセージを表示します。

再　生



1 **電源ボタン (POWER) を押して本機の電源をオンにする。**

POWER



電源ボタン (POWER) の周囲が点灯するまで、押してください。

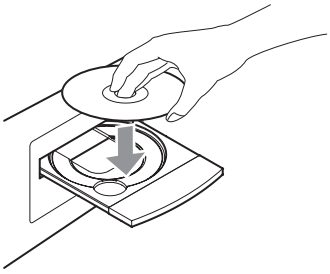
- オート・パワー・セーブ設定 (APS) は、出荷時「30m」に設定されています。(26 ページ)

2 **トレー開閉ボタン (⏏) を押す。**



ディスクトレーが手前に出ます。

3 **ディスクのレーベル面を上にしてトレーの中央にのせる。**



- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

4 **トレー開閉ボタン (⏏) を押す。**



ディスクトレーが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

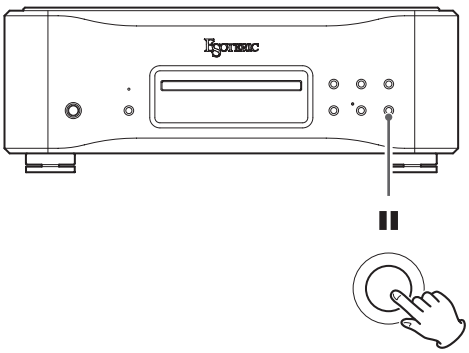
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。
- ディスクの再生エリアを切り換えることができます。(17 ページ)

5 **再生ボタン (►) を押す。**



再生が始まります。
再生中は、再生インジケーターが点灯します。

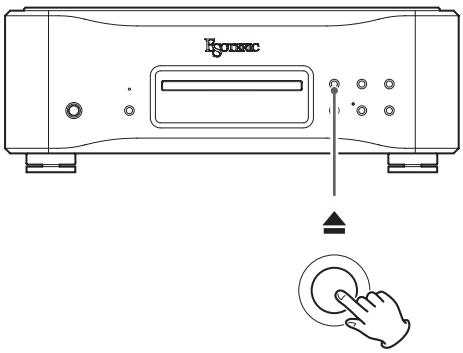
一時停止する



再生中に一時停止ボタン (❚❚) を押すと再生が一時停止し、再生インジケーターが点滅します。

再生ボタン (►) または一時停止ボタン (❚❚) を押すと、再び再生が始まります。

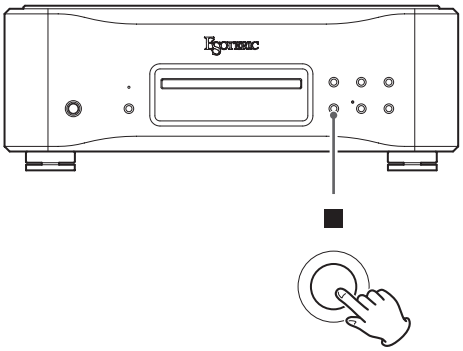
ディスクトレーを開閉する



トレー開閉ボタン (⏏) を押すとトレーが開き、もう一度押すと閉まります。

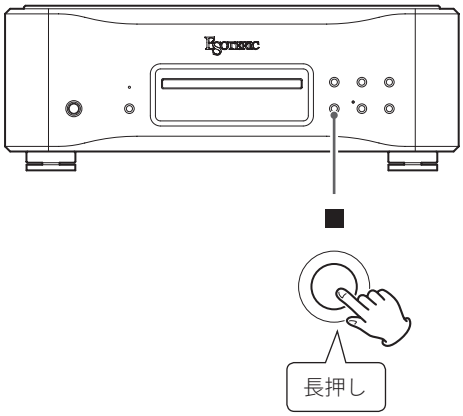
- ディスクの再生中にトレー開閉ボタン (⏏) を押した場合は、トレーが開くまで数秒以上かかります。

再生を停止する



停止ボタン (■) を押すと再生が停止します。

再生エリアの切り換え

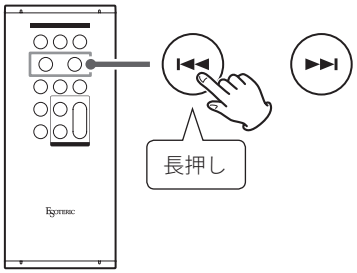


スーパーオーディオ CD には、ステレオ (2 チャンネル) とマルチチャンネルなど複数のエリアを持つものや、スーパーオーディオ CD と CD の 2 層構造 (ハイブリッド) になっているものがあります。
停止中に停止ボタン (■) を長押しすると、再生エリアが切り換わります。

- リモコンで再生エリアの切り換えをするには、停止中に再生エリアボタン (PLAY AREA) を押してください。
- 本機は、スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアの再生には対応していません。

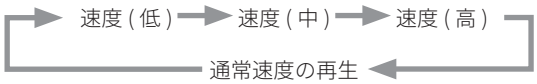
選　曲

早戻し / 早送りする

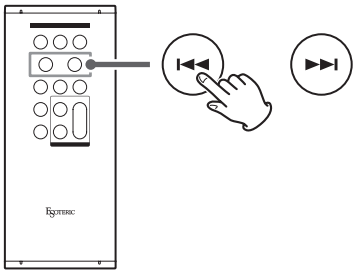


再生中に、早戻し / 早送りが始まるまで、スキップボタン (⏮ / ⏭) を長押しします。聴きたい部分が見つかったら、再生ボタン (▶) を押してください。

スキップボタン (⏮ / ⏭) の長押しを繰り返していくと、早戻し / 早送りの速度が変わります。
ディスプレーの「＜」または「＞」の点滅速度も変わります。



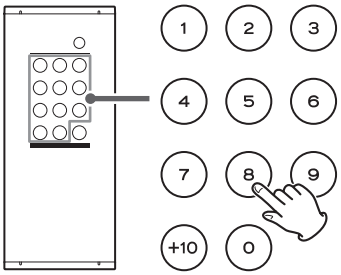
スキップする



再生中にスキップボタン (⏮ / ⏭) を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。

- ⏮ ボタンを 1 回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、⏮ ボタンを続けて押してください。
  ただし、曲の最初の 1 秒以内で ⏮ ボタンを押した場合は、前の曲にスキップします。
- 停止中または一時停止中にスキップボタン (⏮ / ⏭) を押すと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

数字ボタンで選んで再生する



再生中または停止中に数字ボタンを押すと、入力した曲番から再生を始めます。
1 桁の場合は、再生する曲番の数字ボタンを押してください。2 桁の場合は、「+10」ボタンを必要な回数押してから、数字ボタンを押してください。曲番入力後、再生が始まります。

例)

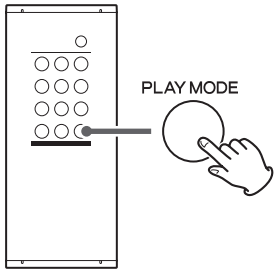
曲番 7 :　(7)

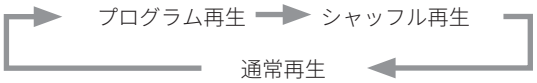
曲番 23 :　(+10) ⇨ (+10) ⇨ (3)

再生モード

再生モード変更

停止中に再生モードボタン (PLAY MODE) を押すたびに再生モードが変わります。





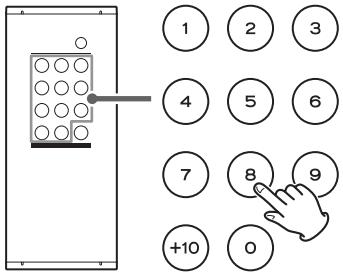
- トレー開閉ボタン (⏏) や本体の電源ボタン (POWER) を押すと、再生モードは通常再生に戻ります。

プログラム再生

聴きたい曲を順番に 24 曲までプログラムできます。

1 再生モードをプログラム再生にする。

2 数字ボタンでプログラムしたい曲番を選ぶ。



例)

曲番 3： 3

曲番 12： +10 ⇨ 2

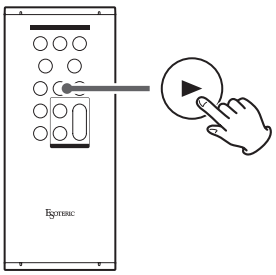
曲番 20： +10 ⇨ +10 ⇨ 0



複数の曲をプログラムするときは、続けて数字ボタンを押してください。

- そのディスクに存在しない曲番はプログラムできません。

3 プログラムが完了したら、再生ボタン (►) を押す。



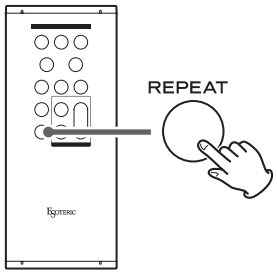
プログラム再生が始まります。

- 再生モードを切り換えると、プログラム内容は消去されます。

シャッフル再生

再生モードをシャッフル再生にして、再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) を押すと、ディスクのトラックをシャッフル再生します。

リピート再生



通常再生中にリピートボタン (REPEAT) を押すと、リピート再生モードが以下のように切り換わります。

REPEAT TRK
(トラックリピート)
→ REPEAT DISC
(ディスクリピート)
→ REPEAT OFF
(通常の再生)
→

プログラム再生中にリピートボタン (REPEAT) を押すと、リピート再生モードが以下のように切り換わります。

REPEAT PGM(プログラムリピート)
↑ ↓
REPEAT OFF(プログラム再生)

シャッフル再生中にリピートボタン (REPEAT) を押すと、リピート再生モードが以下のように切り換わります。

REPEAT SHF(シャッフルリピート)
↑ ↓
REPEAT OFF(シャッフル再生)

- 再生を停止するとリピート再生は解除されます。

トラックリピート

再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

ディスクリピート

再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

プログラムリピート

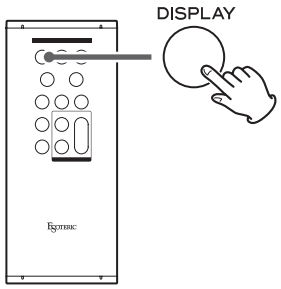
プログラムした曲をくり返し再生します。

シャッフルリピート

シャッフル再生をくり返し行います。

- 再生する曲の順番は、シャッフル再生毎に異なります。

ディスプレー



ディスクの再生中または一時停止中にディスプレーボタン (DISPLAY) を押すと、ディスプレーの表示が次のように切り換わります。

例)



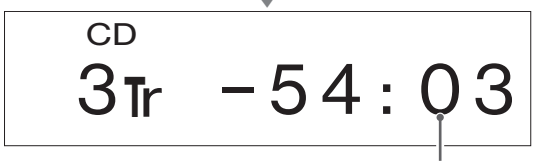
再生中のトラック番号　再生中のトラックの経過時間



再生中のトラックの残り時間



ディスクの経過時間



ディスクの残り時間

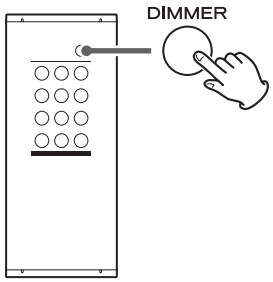
- 停止中は、ディスクの総トラック数と総再生時間を表示します。

例)

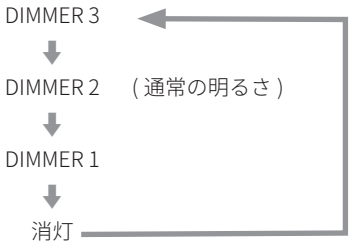


総トラック数　ディスクの総再生時間

ディマー

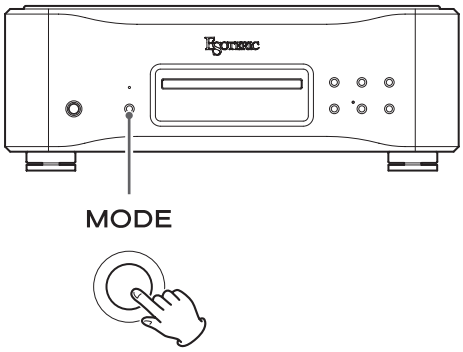


本体のディスプレーの明るさを調節できます。

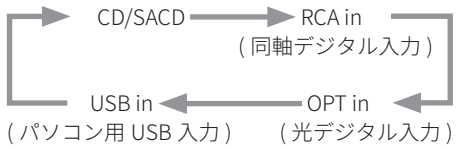


- 消灯中に再生ボタン (►) などを押すと、約 3 秒間だけディスプレーが通常の明るさで点灯します。
- DIMMER 1 または消灯が選択されていても、設定メニューやエラー内容は通常の明るさ (DIMMER 2) で表示されます。
- 長押しすると、DIMMER 2 (通常の明るさ) に設定されます。

入力ソースを切り換える



停止中にモードボタン (MODE) を押すたびに、以下のように入力ソースが切り換わります。



- 本機は入力ソースに外部デジタル入力 (RCA in、OPT in、USB in) を選択すると、D/A コンバーターとして使用することができます。

- 外部デジタル入力を選んだときは、ディスプレーに入力名と入力されているサンプリング周波数が表示されます。入力信号がないときや入力信号に同期できないときは、入力サンプリング周波数が表示されずに、入力名表示が点滅します。

- 入力信号がデジタルオーディオ信号ではない場合や、Dolby Digital、DTS、AAC など本機が対応していないオーディオ信号フォーマットの場合、サンプリング周波数表示部に「- - -」と表示されます。 接続している機器のデジタル出力設定を PCM オーディオ出力にしてください。

- 外部デジタル入力を選んでいるときは、トレー開閉ボタン (⏏) 以外のディスク操作はできません。

パソコンと接続して音楽ファイルを再生する

対応 OS

USB 接続できるパソコンの OS は下記のいずれかです。
下記以外の OS での動作保証はいたしません。
(2025 年 1 月現在)

Mac の場合

macOS Sierra(10.12) 以降

Windows の場合

Windows 10 (32bit/64bit) 以降

ドライバーのインストール

Mac の場合

OS 標準のドライバーで動作するので、専用ドライバーのインストールは必要ありません。
ただし、Bulk Pet を使用する場合は、専用ドライバーをインストールする必要があります。

Windows の場合

本機でパソコンに記録されている音楽ファイルの再生を行うには、専用ドライバーをパソコンにインストールする必要があります。

ご注意

パソコンと USB 接続する前に専用ドライバーソフトをインストールしてください。
ドライバーインストール前にパソコンと本機を接続した場合、正しく動作させることができません。

パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記の OS を使用していても動作しない場合があります。

専用ドライバーをパソコンにインストールする

下記 URL より専用ドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
インストール手順と OS の設定方法は、ドライバーに添付されている ESOTERIC ASIO USB DRIVER インストールマニュアルを参照してください。

https://www.esoteric.jp/jp/product/k-03xd/download

転送モードについて

本機は、Isochronous または Bulk Pet で接続します。
伝送可能サンプリング周波数は 44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384kHz です。DSD の場合は、2.8/5.6/11.2/22.5MHz です。

- DSD 22.5MHz は、DSD Native 再生にのみ対応しており、DoP（DSD Audio over PCM Frames）再生には対応していません。

正しく接続されると、OS のオーディオの出力先として、「ESOTERIC USB AUDIO DEVICE」が選択可能になります。

本機のデータ転送では、パソコンから送出されたオーディオデータを本機側のクロックを使って処理するので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

再生アプリケーションソフト「ESOTERIC HR Audio Player」のダウンロード

パソコンを使った音楽ファイルの再生には、ESOTERIC HR Audio Player をご利用いただけます。
下記 URL からダウンロードしてご利用ください（無償）。

https://www.esoteric.jp/jp/product/hr_audio_player

ESOTERIC HR Audio Player は、Windows および Mac 上で動作するハイレゾ音源対応の高音質プレーヤーソフトウェアです。複雑な設定をしなくても DSD を含むハイレゾ音源再生を高音質で楽しむことが可能です。

ESOTERIC HR Audio Player の設定について

ESOTERIC HR Audio Player で、DSD 22.5MHz を再生する場合、[Configure] ウインドウの [Decode mode] の項目で、[DSD Native] を選択してください。

DSD 22.5MHz を再生しない場合は、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。

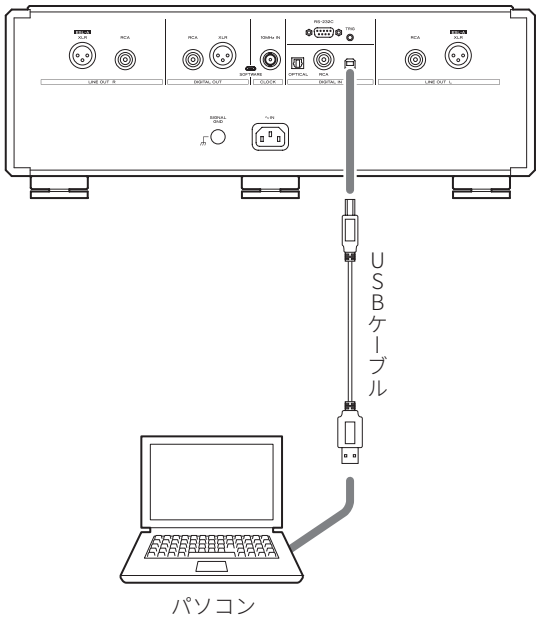
詳しくは、ESOTERIC HR Audio Player 取扱説明書の「DSD 再生方式の選択」をご覧ください。

音楽ファイルを再生する

1 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。

ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。

- 本機の USB 端子は、B 端子です。
- USB2.0 以上推奨。



2 パソコンの電源を入れる。

OS が正常に起動できたことを確認してください。

3 電源ボタン (POWER) を押して本機の電源を入れる。



4 モードボタン (MODE) をくり返し押して「USB」を選ぶ。(21 ページ)



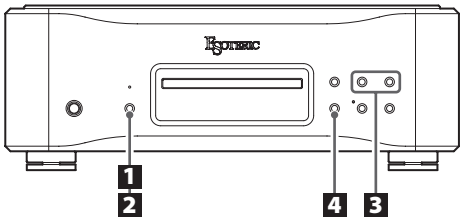
5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調整は最大に設定して、本機に接続したアンプで音量を調整するとより良い音質が得られます。アンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。
- 本機から USB 経由でパソコンに音楽ファイルを転送することはできません。
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
  - ・USB ケーブルを抜く
  - ・本機の電源をオフにする
  - ・入力を切り換える
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。
- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

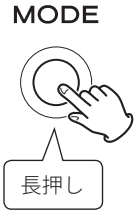
設定モード

本機の設定は、設定 1 と設定 2 の二つのグループに分かれています。
モードボタン (MODE) の押し方によって設定 1 と設定 2 の表示を切り換えます。



設定のしかた

1 停止中または再生中に、モードボタン (MODE) を長押しする。

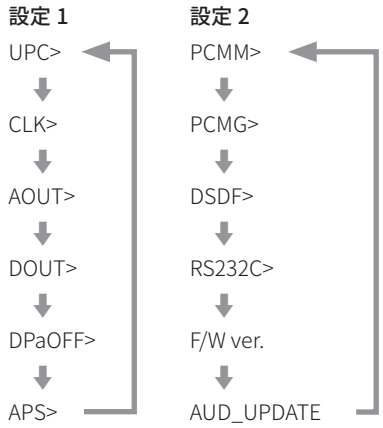


設定 1 が表示されます。
設定 2 を表示するには、設定 1 表示中にもう一度、モードボタン (MODE) を長押ししてください。

2 モードボタン (MODE) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。

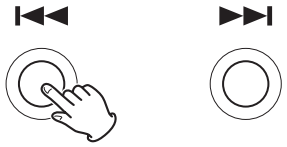


モードボタン (MODE) を押すたびに、ディスプレーの表示が変わります。



- 選択しているソースや操作している状態により表示されない項目があります。
- 10 秒以上放置すると、設定モードが解除されて通常の表示に戻ります。
  ただし、設定 2 の AUD_UPDATE は、放置しても設定モードが解除されません。

3 スキップボタン (I◄◄/►►I) を使って、設定を変更する。



複数の項目を変更する場合は、手順 2 と 3 をくり返してください。

4 停止ボタン (■) を押す。

設定を終了して通常の表示に戻ります。



または、10 秒以上放置すると設定を終了して通常の表示に戻ります。ただし、設定 2 の AUD_UPDATE は、放置しても設定モードが解除されません。

- 設定した内容は電源プラグを抜いても保持されます。

設定 1

PCM 信号のアップコンバート設定

UPC> ＊＊＊

CD 再生時や外部デジタル入力 (RCA in、OPT in、USB in) に PCM 信号が入力されているときの入力信号を、アップコンバートしたり、DSD 信号に変換したりすることができます。

- 出荷時は「ORG」に設定されています。
- 各入力ごとに設定可能です。
- スーパーオーディオ CD 再生時は、DSD 信号がアップコンバートされず、そのまま D/A コンバーター部に伝送されます。

ORG

アップコンバートを行いません。

- 入力信号をアップコンバートしないで、そのまま D/A コンバーター部に伝送します。

2Fs

88.2kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

4Fs

176.4kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

8Fs

352.8kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

16Fs

705.6kHz よりも低い周波数の PCM 信号が入力されているとき、アップコンバートを行い、D/A 変換を行います。

DSD

DSD 信号に変換して、D/A 変換を行います。

外部クロック設定

CLK> ＊＊＊

外部クロックによる同期設定をします。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- USB 入力以外で、クロック同期機能のないソース機器と接続するときは、OFF を設定してください。

OFF

クロック同期を行いません。入力デジタル信号のクロックで動作します。

USB 入力時は内蔵発振器を使用します。
クロックインジケーター (CLOCK) は点灯しません。

SYNC

本機の 10MHz クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) にクロックジェネレーターから 10MHz のクロックを入力し、本機を同期させるモードです。

クロックインジケーター (CLOCK) が点灯します。同期中または同期できない状態の場合は、クロックインジケーター (CLOCK) が点滅します。

- 入力可能なクロックの周波数は、10MHz です。入力オーディオ信号と入力クロックは同期している必要があります。
- 音楽再生中にクロックジェネレーターの電源をオフにしたり、10MHz クロックを供給している BNC 同軸ケーブルの接続をはずして、クロックの供給を止めると、スピーカーから大きなノイズが発生することがありますのでご注意ください。

アナログ出力設定

AOUT> ＊＊＊

使用するアナログ出力端子を設定します。

- 出荷時は「XLR2」に設定されています。

XLR2
XLR 端子から 2 番 HOT でアナログオーディオ信号を出力します。

XLR3
XLR 端子から 3 番 HOT でアナログオーディオ信号を出力します。

RCA
RCA 端子からアナログオーディオ信号を出力します。

ESLA
XLR 端子から ES-LINK Analog (ESL-A) でアナログオーディオ信号を出力します。

- 接続には一般的な XLR ケーブルを使用しますが、独自伝送方式のため、接続は対応する機器のみとなります。
- ES-LINK Analog (ESL-A) については 9 ページを参照下さい。

OFF
アナログ出力を行わず D/A コンバーター回路を停止します。

デジタル出力設定

DOUT> ＊＊＊

使用するデジタル出力端子を設定します。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。
- アップコンバートされていない信号が出力されます。
- スーパーオーディオ CD 再生時は、自動的にオフとなります。

OFF
デジタル出力しません。

XLR
XLR デジタル出力端子から CD のデジタル音声信号が出力されます。

RCA
RCA デジタル出力端子から CD のデジタル音声信号が出力されます。

ディスプレー自動消灯設定

DPaOFF> ＊＊＊

ディスプレー表示を自動的に消灯することができます。

- 出荷時は、「ON」に設定されています。
- 有機 EL 表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動消灯設定を ON にすることをお勧めします。

ON
10 分間操作の無い状態が続くと、表示が自動的に消灯します。

OFF
表示を自動消灯しません。

- 10 分間操作の無い状態が続くと、DIMMER 1 と同じ明るさにし、ディスプレーの消耗を防ぎます。

オート・パワー・セーブ設定

APS> ＊＊＊

選択されている入力ソースからの入力信号がない状態が設定時間続くと、電源を自動的にオフにします。

- 出荷時は、「30m」に設定されています。
- 選択されていない入力ソースの状態は、オート・パワー・セーブの動作に影響しません。

30m
30 分

60m
60 分

90m
90 分

120m
120 分

OFF
オート・パワー・セーブ機能を使用しません。

設定 2

PCM 信号の D/A コンバート動作モード設定

PCMM> ＊＊＊

PCM 再生時の D/A コンバーターの動作モードを M1、M2、M3 の 3 種類から設定できます。

- 出荷時は「M1」に設定されています。

ΔΣモジュレータの動作周波数やハードウェアの誤差を吸収するためのランダマイズアルゴリズムを変更しています。
M1 が ESOTERIC のリファレンスのモードです。
ΔΣモジュレーターについては、M1、M2、M3 の順に動作周波数が低くなります。
ランダマイズアルゴリズムについては、M1、M2、M3 の順序に入れ換えの度合いが高くなります。
お好みの音色の設定を選択してください。

PCM 出力ゲイン設定

PCMG> ＊＊＊

PCM 信号再生時のゲインを設定します。PCM 信号再生時と DSD 信号再生時の音量差を少なくするとこができます。
必要に応じて設定してください。

- 出荷時は「FULL」に設定されています。

FULL
ゲイン調整しません。

LOW
PCM 信号のゲインを初期設定より下げて出力します。
再生された PCM 信号が DSD 信号に対して大きい音量と感じたときに使用してください。

DSD フィルター設定

DSDF> ＊＊＊

DSD 再生時のデジタルフィルターを設定します。
お好みに合わせて設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF
デジタルフィルターを使用しません。

F1、F2、F3
デジタルフィルターを使用します。F1 から F3 は、周波数特性の異なるデジタルフィルターで、F1、F2、F3 とカットオフ周波数が下がります。

リモコン入力端子 (RS-232C) 設定

RS232C> ＊＊＊

リモコン入力端子 (RS-232C) を使用時のみ「ON」に設定してください。

- 出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF
リモコン入力端子 (RS-232C) を使用しません。

ON
リモコン入力端子 (RS-232C) を使用します。

設定 2(続き)

ファームウェアのバージョン表示

F/W ver.

F/W ver. 表示中にスキップボタン (►►I) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。

I/F **
I/F ファームウエア

B/E **
B/E ファームウェア

AUDIO **
Audio FPGA ファームウェア

DAC LR****
DAC FPGA ファームウェア

M ***
MQA/USB ファームウェア

オーディオプログラムアップデート設定

AUD_UPDATE

本機のオーディオ信号処理プログラムのアップデートを行うときに使用します。
詳しいアップデート方法は、アップデートプログラムに添付されている説明書を参照ください。

MQA (Master Quality Authenticated)

MQA は、英国が誇るオリジナルマスター録音のサウンドを実現する技術として高く評価されています。マスター MQA ファイルは完全に認証され、ストリーミングまたはダウンロードに適したコンパクトなファイルサイズが特長です。
詳細は、www.mqa.co.uk をご覧ください。
K-03XD は MQA に対応しており、MQA オーディオ・ファイル、MQA ストリーミングの再生が可能で、オリジナルマスター録音のサウンドをお届けします。

「MQA」または「MQA.」の表示は、本機が MQA ストリームまたは MQA ファイルをデコードし、再生していることを示し、音声が元の音源と同一であることが保証されていることを示します。「MQA.」は、スタジオでアーティスト / プロデューサーによって承認されたか、または著作権所有者によって確認された MQA スタジオファイルを再生していることを示すものです。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (35 ページ) にご連絡ください。

一般

電源が入らない。
- ➡ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ➡ 電源コードと本機の接続を確認してください。
- ➡ 電源コードが接続されたコンセントに電流が流れているか、別の機器を接続するなどして確認してください。

電源が自動的にオフになる。
- ➡ オート・パワー・セーブ機能が働いて電源がオフになっています。
  本体の電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。必要に応じてオート・パワー・セーブ設定を変更してください。(26 ページ)

リモコンで操作できない。
- ➡ 本体の電源をオンにしてください。(16 ページ)
- ➡ 電池が消耗していたら、2 本とも新しい電池に交換してください。(12 ページ)
- ➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から 7 メートル以内の距離で、本体に向けて操作してください。(12 ページ)

テレビなどが誤動作する。
- ➡ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビなどの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。

CD やスーパーオーディオ CD を再生できない。
- ➡ モードボタン (MODE) をくり返し押して、「CD/SACD」を選んでください。(21 ページ)
- ➡ ディスクを正しくセットしてください。ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(8 ページ)
- ➡ 本機の内部が結露している場合は、電源を入れて 1、2 時間放置してください。(30 ページ)

ボタンを押しても反応しない。
- ➡ 続けてボタンを押すと、本機が対応できずに動作しないことがあります。ボタンを押すときは、本機が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。
- ➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない。音が歪む。
- ➡ アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(10 ページ)
- ➡ アンプなどの音量を調節してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(8 ページ)
- ➡ デジタル音声出力端子 (DIGITAL OUT) からは、スーパーオーディオ CD のデジタル音声は出力できません。
- ➡ 一時停止中は音が出ません。再生ボタン (►) を押して通常の再生に戻してください。
- ➡ アナログ出力設定を確認してください。(26 ページ)

外部接続した機器でデジタル録音できない。
- ➡ コピー禁止信号の入っているディスクの音声をデジタル信号のまま録音することはできません。

CD とスーパーオーディオ CD で音量差を感じる。
- ➡ CD とスーパーオーディオ CD で音量差を感じることがありますが、これはディスクの記録方式やマスタリング、オーサリングの違いによるものです。

光で接続すると音が出ない。または、プツプツという音しか出ない。
- ➡ 本機は 2ch の音声信号のみ再生可能です。送信機器の信号形式を確認してください。

クロック同期

クロックインジケーター (CLOCK) の点滅が消えない。
- ➡ クロック同期を使用しないときは、クロック設定 (CLK>) で「OFF」を選んでください。
- ➡ 同期できないクロックが入力されている可能性があります。クロック端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。本機は、10MHz のクロックのみに対応します。

「プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る。
- ➡ クロック同期モード時にスピーカーから「プツ、プツ……」と周期的なノイズが出る場合は、接続している機器がクロック同期モードになっていない可能性があります。クロック端子の接続状態や、接続している機器のクロック設定を確認してください。

困ったときは (続き)

パソコンとの USB 接続

パソコンで本機が認識されない。

➡ 対応するパソコンの OS は、22 ページをご覧くだ さい。対応していない OS での動作保証はいたしかねます。

雑音がする。

➡ 音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。

➡ 本機とパソコンを USB ハブなどを介して接続していると雑音がでることがあります。そのような場合は、本機とパソコンを直接接続してください。

音楽ファイルが再生できない。

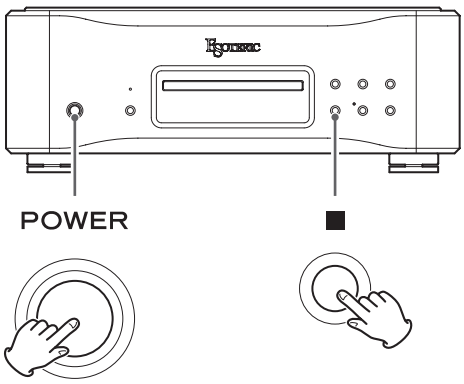
➡ パソコンと本機を接続して「USB」に切り換えてから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。

再生できなくなった。

➡ OS の音声出力デバイスの設定を確認してください。また、ドライバーを一度削除して、再インストールしてください。詳細は、ドライバーに添付されている ESOTERIC ASIO USB DRIVER インストールマニュアルを参照してください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合はいったん電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

出荷時の状態に戻す



設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1 電源をオフにする。

電源がオンの場合は、電源ボタン (POWER) を押して電源をオフにしてから 30 秒以上待ってください。

2 本体の停止ボタン (■) を押しながら電源ボタン (POWER) を押す。

ディスプレーに「Setup CLR (設定消去)」が表示されたら停止ボタン (■) から指を離してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕　様

再生可能ディスク

スーパーオーディオ CD、CD (CD-R/CD-RW 対応)

アナログ音声出力

XLR ..... 1 系統 (L/R)
　最大出力レベル 5.0Vrms
　出力インピーダンス ..... 114 Ω
RCA ..... 1 系統 (L/R)
　最大出力レベル 2.5Vrms
　出力インピーダンス ..... 34 Ω
オーディオ特性
(スーパーオーディオ CD 0dB、DSDF=F2、XLR 出力時)
　周波数特性 ..... 5Hz ～ 30kHz (– 3dB)
　S/N 比 ..... 113dB (A-Weight)
　歪率 0.0007% (1kHz)

デジタル音声出力

XLR 1
　出力レベル 3Vp-p
　出力インピーダンス ..... 110 Ω
　出力信号形式 ..... リニア PCM
(AES/EBU フォーマット)
44.1kHz、16bit (CD 再生時)
RCA 1
　出力レベル 0.5Vp-p
　出力インピーダンス ..... 75 Ω
　出力信号形式 ..... リニア PCM
(IEC60958 フォーマット)
44.1kHz、16bit (CD 再生時)

デジタル音声入力

RCA 1
　入力レベル 0.5Vp-p
　入力インピーダンス ..... 75 Ω
　入力信号形式
　　リニア PCM（IEC60958 フォーマット）
32 ～ 192kHz、16bit、24bit
　　DSD（DoP フォーマット）..... 2.8MHz
OPTICAL 1
　入力レベル ..... –24.0 ～ –14.5 dBm peak
　入力信号形式
　　リニア PCM（IEC60958 フォーマット）
32 ～ 192kHz、16bit、24bit
　　DSD（DoP フォーマット）..... 2.8MHz
USB 1
（B 端子、USB2.0 準拠）
　入力信号形式
　　リニア PCM
44.1 ～ 384kHz、16bit、24bit、32bit
　　DSD
2.8MHz、5.6MHz、11.2MHz、22.5MHz

クロック入力

BNC 1
入力レベル ..... 0.5 ～ 1.0Vrms (サイン波)
入力インピーダンス ..... 50 Ω
入力可能周波数 (± 10ppm) 10MHz

外部コントロール入力

RS-232C 1
トリガー（TRIG）..... 1
（3.5mm モノラルミニジャック）
　入力レベル ..... 12V、55mA

仕　様 (続き)

一般

電源 ..... 100V AC 50/60Hz
消費電力 25W
外形寸法 ..... 445mm x 162mm x 438mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量 28kg
許容動作温度 ..... ＋ 5°C〜＋ 35°C
許容動作湿度 ..... 5%〜 85% (結露のないこと)
許容保管温度 ..... − 20°C〜＋ 55°C

付属品

電源コード× 1
リモコン (RC-1333) × 1
リモコン用乾電池 (単 3) × 2
フェルト× 3
取扱説明書 (本書) × 1
ご愛用者カード× 1

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から 3 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店、AV お客様相談室もしくはティアック修理センター (35 ページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

29 ページの「困ったときは」に従って調べても、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (35 ページに記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：スーパーオーディオCDプレーヤー
K-03XD
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

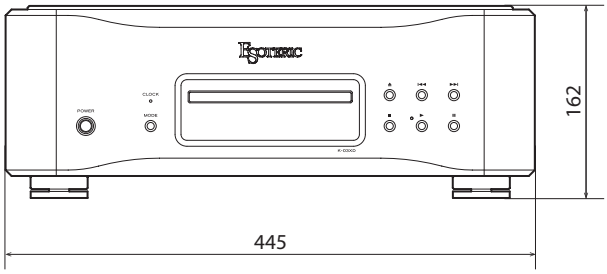
本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

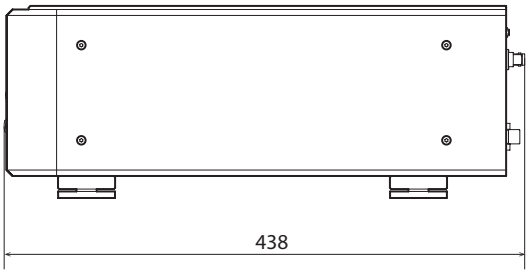
分解・改造禁止

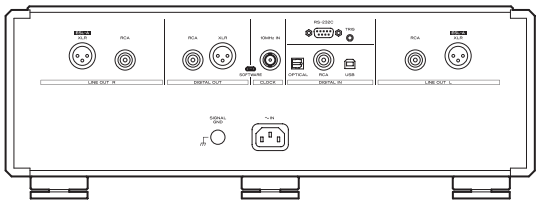
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

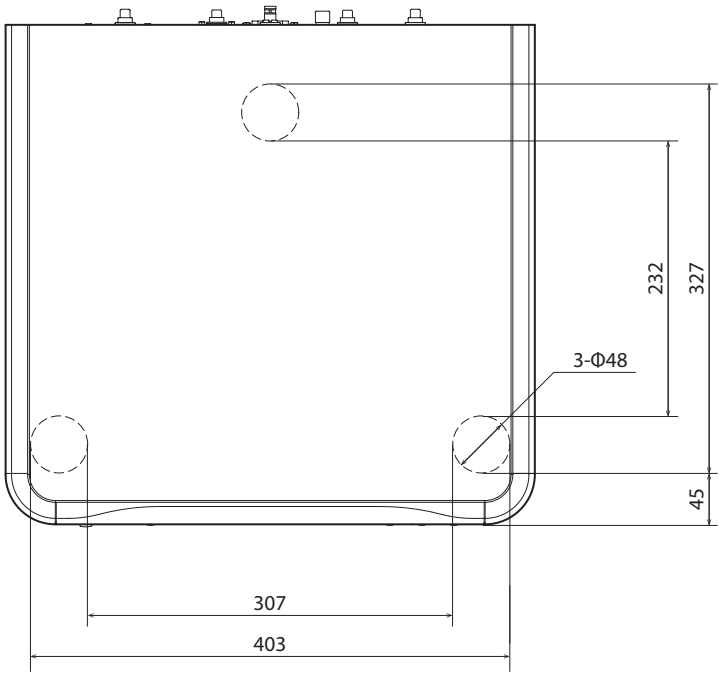
寸法図







フット配置図



単位：mm
* 直径 48mm フット× 3

ティアック株式会社
〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47

https://www.esoteric.jp/jp/
ESOTERIC ウェブサイト ▶

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室　〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47

042-356-9235　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-701　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター　〒 358-0026　埼玉県入間市小谷田 858

04-2901-1033　携帯電話、IP 電話をご利用の場合

0570-000-501　ナビダイヤル　固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ESOTERIC

ティアック株式会社

0125 MA-3058G